

## 平成16年度附属図書館・資料館特別展

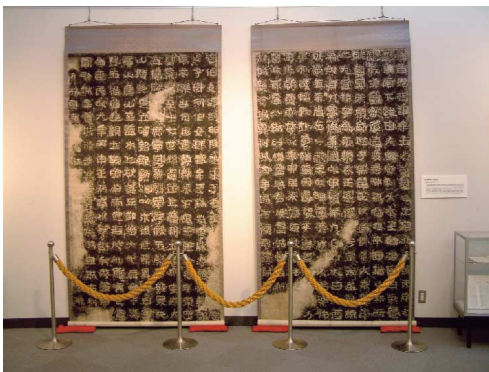
### 「文字・人・こころ - 金沢大学ゆかりの墨蹟・拓本・手跡」

金沢大学ゆかりの墨蹟・拓本・手跡を、その歴史的背景を考察しながら紹介しようと10月25日から11月7日まで特別展示を行いました。より多くの方にご覧いただきたいと金大祭にあわせた土日も開館し、その結果257名の来館者(学生114名,教職員50名,一般市民93名)がありました。

当初は学内にありながらもなかなか人の目に触れる機会のない墨蹟の展示を予定していましたが、準備をすすめていく中で、よりテーマに深みを持たせるために金沢市立玉川図書館近世史料館、第四高等学校同窓会、前田土佐守家資料館からも関連の資料を借用し、全部で50点の資料を9つのテーマにわけ展示しました。以下テーマごとに主な展示物を紹介します。

#### 1. 高句麗広開土王碑拓本

大正5年に第四高等学校へ寄贈され、金沢大学へ受け継がれたもの。初公開。



#### 2. 「明倫堂」加賀藩校の扁額

扁額の題字を書いた新井白蛾や加賀藩校の成立に関わる資料。

#### 3. 「経武館」加賀藩武学校の扁額

扁額の題字を書いた前田直方の肖像画をはじめとした資料。

#### 4. 蘭医学の導入

加賀藩の蘭方藩医、黒川良安の書状。

#### 5. 金沢藩お雇外国人教師スロイス

明治4年から3年間金沢藩医学館において医学生徒の教育と病院内外の患者の治療に従事したスロイスの功績や講義録、使用した機器、教科書など。



#### 6. 「金沢病院」蘭医学からドイツ医学へ

明治12年に落成した金沢病院の扁額(三条実美書)と当時の細見図。

#### 7. 第四高等中学校校舎の設計図・棟札

明治22年着工、26年に落成した第四高等中学校校舎の講堂や教場の設計図。

#### 8. 第四高等学校をめぐる人々

第四高等学校に飾られた扁額や講義録など。扁額「至誠無息」(岡上梁書)と四高教授市村塘の東京帝国大学講義録は初公開。

#### 9. 石川の知識人

図書館、資料館が所蔵する石川県の知識人の書、著作など。

この地ではぐくまれ、金沢大学へとつながる教育の歴史やこれに携わった先人のこころを展示資料から窺い知ることができたのではないのでしょうか。実施したアンケートにも好意的な感想が多く寄せられました。

詳細な解題がついた図録は、図書館中央館書庫(請求記号 069 9:K16)に配架されていますのでご覧ください。

(押見智美 参考調査係)